

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
(ふりがな) もとだよしたか 元田良孝			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな) うさみせいじ 宇佐美誠史		岩手県立大学総合政策学部総合政策学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
地域調査実習	IWKa-121001-0	6	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

盛岡市内の2高校で、生徒の自転車利用や意識を先生方にヒアリングし、先生や生徒を対象にアンケート調査を行った。真摯に実習を行った。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ/領域：ヒアリング、アンケート調査

2. 調査の内容/概要：

実習として、盛岡市内の高校で、生徒の自転車利用の実態を観測分析するとともに、担当の先生方のヒアリング、生徒へのアンケート調査および結果の公表を行った。

3. 調査の範囲/対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：盛岡市内の高校でA高校は先生18票 生徒306標サンプリングは全数調査
B高校は先生56票 生徒553標サンプリングは全数調査である。

4. 主な調査項目：自転車の利用実態、法律知識と実際の利用状況など

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

高校の担当教員に依頼して実施

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

平成23年12月、及び平成24年1月、盛岡市内、6名

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入）：

有効回収率 A高校 先生18票 26% 生徒306票 96%
B高校 先生56票 93% 生徒553票 99%

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：

単純集計、クロス集計

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

自転車の利用実態と法律知識にかい離がみられた。自転車の歩道通行に関して知識の不足が見られた。

10. 報告書刊行の予定と概要：報告書は内部資料として作成、刊行予定なし、概要は上記で述べたとおり。

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。

2. 最上部の*印の箇所には数字を(「*/*」には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3と)ご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。